

リサイクルの取り組み

美化推進の取り組み

京阪線の各駅では、「美化推進」の一環としてペットボトルのキャップを回収し、世界の子どもたちにポリオワクチンを届けるエコキャップ活動に取り組んでいます。4年前の活動開始から平成24年12月19日までに262,100個のキャップを回収し、326人分のワクチンを届けることができました。この活動は、全社員のリサイクル意識の向上にもつながっています。

また、「きれいな地域づくり」のため、清掃活動を実施しています。

大津線での取り組み

エコタイルとウッディペット

エコタイルとは、古タイヤなどの使用済みゴムを有効活用したタイルです。再生も可能であり、環境や人にもやさしい製品です。現在、京阪石山駅、京阪膳所駅、浜大津駅、皇子山駅で使用しています。また、自然木を再現したウッディペットはペットボトルを100%利用した再生品で、耐久性に優れメンテナンスも容易です。現在、大津線の京阪石山駅ホーム、京阪膳所駅下りホーム、皇子山駅ホームのゴミ箱に使用しています。なお、ベンチにも同様の製品を使用しています。



エコタイル



ウッディペットのゴミ箱

その他の取り組み

精華台5丁目における環境配慮型の戸建住宅分譲計画

当社および京阪電鉄不動産株式会社は、平成25年6月「ローズプレイスけいはんな公園都市」第1期戸建分譲を行いました。

本分譲は、京都府相楽郡精華町精華台5丁目において、三井不動産株式会社、野村不動産株式会社と共同で開発を進めてきた、総戸数340戸の街に位置します。

この街では、環境配慮型の住宅地を目指し、開発時より街区内道路にヒートアイランド現象を緩和する保水性アスファルト舗装を採用。また、全戸に太陽光発電システムの導入を

予定しています。これに加え、本分譲ではガス発電システムを採用し、発電時に発生した熱を給湯や暖房に利用することで、エネルギー消費量を削減。また、HEMS機器を採用し、居宅のエネルギー使用量を見える化することで、お客さまご自身で省エネに取り組んでいただける暮らしの提案を行うなど、環境に配慮した取り組みを行っています。

私たちも環境活動に取り組んでいます

Message

電気部では地球温暖化防止に向け、高効率照明器具やインバーター制御機器などを採用しエネルギーの効率的利用に努めています。平成24年度には大和田駅に無人時微速運転対応型エスカレーターを導入した他、守口市駅の空調設備更新に際し、水冷式エアコンを空冷式エアコンに置き換えることで消費電力の削減を図りました。

また、工事の計画にあたっては周辺への騒音・振動の軽減に配慮した工法を選定するとともに、グリーン購入法適合商品の採用を積極的に検討しています。今後も環境にやさしい設計を心がけていきたいと思っております。



電気部 技術課
電力設計担当
植松 信夫

工務部保線課では、分岐器改良やロングレール化によりレール継目を減らすことで列車騒音振動の低減を図るとともに乗り心地向上にも努めています。平成24年度は萱島駅構内の分岐器の一部を弾性ポイント化し、また、樟葉駅～橋本駅間の一部でロングレール化を実施しました。これにより、列車通過時の継目音が低減され、かつ保守作業の省力化にも寄与しています。今後も積極的に環境活動への取り組みを行ってまいります。



工務部 保線課
設計担当
菊島 宏太

車両部では環境負荷低減のため、使用する機器・部品について環境に配慮した整備ができるように、研究を推し進めています。その一例として車両用クーラー更新時に、オゾン層を破壊しない冷媒を使用したり、メンテナンス軽減策を講じたクーラーを採用することにより環境負荷の低減を図っています。

また、パンタグラフの集電舟に、騒音低減の効果があるCFRP製の集電舟を順次採用し、列車走行時の騒音を抑えています。他の交通機関に比べ省エネルギーで環境にやさしい鉄道ですが、その魅力をより高める取り組みを続けてまいります。



車両部 車両課
整備係
酒井 則雄